

令和元年7月17日

學

伴東小学校 校長室だより

【伴東プライド】を中核に、
「やる気いっぱい 笑顔いっぱい」の学校



昨年の7月初めは4日に台風17号のため全市一斉休校となり、その後も長雨が続き6日も休校措置をとりました。『西日本豪雨災害』では西日本の各地で甚大な被害が発生し、広島市も各地区で大変な状況となりました。あれから一年が経過し、今もなお復旧作業が被災地で続けられています。



振り返ってみると、地震や大雨による洪水や土砂崩れなど、一年を通して常にごくどこかで発生し、大きな被害がもたらされているように思います。その都度、尊い命も奪われており、日頃から自然変災時の対応についていろいろな場面を想定して考えておかなければなりません。そうした中、6月7日に発令された避難情報「警戒レベル4（避難勧告、避難指示）」を巡っては対応に差が見られたことから、避難行動にかかる対応について見直しをするよう行政から指示がありました。これを受けて本校も年度初めに配布しております『平成31年度 非常変災時における登下校について』の通知を見直し、改訂版を先日配布いたしました。必ず目を通していただき、いつでも確認できる場所に掲示をお願いいたします。

前期前半も終わりが近づき、もう少しで子ども達が楽しみにしている夏休みを迎えます。8月28日までの長い期間となりますが、規則正しい生活を心がけ、安全に、そして充実した毎日をご過ごしてほしいと願います。特に今年は夏季休業中のプール開放が午前中（10時30分～11時30分）となりました。プールまでの行き帰りにも十分に気をつけるよう、ご家庭でも言葉かけをお願いいたします。休み明けには笑顔で元気に登校してきてくれることを楽しみにしています。

先月の6月23日は沖縄「慰霊の日」。沖縄各地で追悼式や慰霊祭が開かれました。戦後74年、今年も私たちのヒロシマも8月6日を迎えます。

「本当の幸せ」

沖縄県兼城小 6年 山内玲奈

青くきれいな海 この海はどんな景色を見たのだろうか
爆弾が何発も打ちこまれ ほんのおで包まれた町
そんな沖縄を見たのではないだろうか

緑あふれる大地 この大地はどんな声を聞いたのだろうか
けたたましい爆音 泣き叫ぶ幼子
兵士の声や銃声が入り乱れた戦場
そんな沖縄を聞いたのだろうか



青く澄みわたる空 この空はどんなことを思ったのだろうか
緑が消え 町が消え 希望の光を失った島

体が震え 心も震えた いくつもの尊い命が奪われたことを知り
そんな沖縄に涙したのだろうか

平成時代 私はこの世に生まれた
青くきれいな海 緑あふれる大地 青く澄みわたる空しか知らない私
海や大地や空が七十四年前 何を見て 何を聞き 何を思ったのか
知らない世代が増えている
体験したことはなくとも
戦争の悲さんさを決して繰り返してはいけないことを
伝え継いでいくことは 今に生きる私たちの使命だ
二度と悲しい涙を流さないために
この島が この国が この世界が幸せであるように

お金持ちになることや有名になることが幸せではない
家族と友達と笑い合える毎日こそが 本当の幸せだ
未来に夢を持つことこそが 最高の幸せだ

「命（ぬち）どう宝」
生きているから笑い合える
生きているから未来がある
令和時代
明日への希望を願う新しい時代が始まった



この幸せをいつまでも

先月の23日、沖縄全戦没者追悼式で「本当の幸せ」と題した自作の詩を読んだ兼城（かねぐすく）小学校6年の山内玲奈さん。終始多くの参加者に視線を送り手元の原稿を一度も見ることなく暗唱し、「伝え継ぐことが私たちの使命」とであると発信しました。テレビ放映された山内さんの姿と詩の内容が深く心に残りました。毎年「慰霊の日」の児童生徒からの発信は、広島と同様に心を打ちます。

ヒロシマも74回目の8月6日を迎えます。子ども達は平和登校日として学校に集まり、平和について考えます。今年も6年生を中心に集会を行い、その後各学年の発達段階に沿って学びを深めます。午前中で下校しますが、この日はご家庭でも平和について考える一日にさせていただきたいと思えます。なお、当日はいつもよりも登校時間を早めております。また、登校日ですので欠席の場合は担任までご連絡ください。



最近、夕方の遅い時間帯に子ども達の姿を目にします。特に夏休みに入ってからは自由な時間が増え、気持ちもゆるみがちです。夕方の帰宅時間は6時となっています。約束をきちんと守って安全に過ごしましょう。

学校では「あいさつ」や「正しい言葉遣い」ができるようになってきています。より良い成長に繋げていくためにも、休み中も継続してほしいと願っております。ご家庭でも、子ども達が意識して生活を送るよう言葉かけをお願いいたします。

となった「伴東まつり」、6日(金)に実施する予定でしたが大雨による臨時休校措置のため翌週9日(月)に行いました。各学年学級で遊びのコーナーを企画・準備し、前半と後半で役割を分担し仲良し班のグループでそれぞれの会場を回り楽しみました。特に初めての経験となる1年生はどのコーナーでも興味深く体験したり遊んだりしていました。また、仲良し班のメンバーで回る順序を相談し合い、決められた時間を上手に使う「伴東まつり」を楽しんでいたようでした。縦の繋がりが希薄になっている状況の中、本校は仲良し班をいろいろな場面で活用しています。上学年の子どもは下学年の友だちを優しく導く経験を積み、下学年の子どもは憧れの存在として上学年の友だちを見習い成長してほしいと願っています。たくさん笑顔と歓声に溢れた素敵な時間でした。



21日(土)から子どもたちが楽しみにしている「夏休み」に入ります。携帯・スマホ・ゲーム機器等の使用の状況を常にご確認ください!

子どもたちが楽しみにしている「夏休み」が始まります。しばらくの間、子どもたちの自由になる時間が増えます。休み前には夏休みの生活について各学級で指導を行います。規則正しい生活リズムを保ち、毎日の計画や40日間の計画を進められるよう過ごしてほしいと思います。特に午前10時までは自宅で課題などに取り組んで過ごし、朝から遊びに出ないように指導しています。友だちと遊ぶときにも、遊びの内容について自分たちで考え判断するように伝えています。

子どもたちの携帯・スマホ・タブレットやゲーム機器等の使用に係るいろいろな事案が夏休みを中心に発生します。特に通信機器におけるSNSの使用において、仲間はずれやいじめにつながる事態に発展したものが多く報告されています。また、ゲーム機器を使ってのオンラインゲームに夢中になりゲームの終盤には一緒に楽しんでいた友だちを裏切ったとしてトラブルになっている事案も耳にしています。中には、一晩中動画サイトを視聴して昼夜逆転の状態になっている子どももあり、子どもたちを取り巻く環境の大きな問題となっています。

各ご家庭におかれましては、携帯やスマホの使用についての約束やタブレットやゲーム機器の使用時間等についても再度話し合ってください。子どもたちが使っているゲーム機器はWiFiを経由すると通信機器と同じ機能を持つことがトラブルの要因にもなっていますので、ご面倒でも子どもさんがどのような使用実態であるか定期的にご確認ください。よろしくお願いいたします。



先日の朝、子どもたちが登校してきているときのことで。農免道に架かっている歩道橋に向かって1年生の男の子が走ってきました。「あっ!」と思った瞬間、その男の子はこけてしまいました。しばらくは倒れたまま・・・すると近くにいた5年生の子どもたちが「大丈夫?」と言葉をかけてくれました。ポケットからティッシュを取り出し、擦りむいた膝小僧から流れている血をそっと拭いてくれる子。持ちあわせていた絆創膏を貼ろうとしてくれた子。1年生のランドセルを持ってくれる子。「上まで行こう!」と肩を貸してくれる子・・・とても微笑ましく、また心が温まる瞬間でした。『優しい子たちだな』とうれしく思いました。何よりも、その様子を見てすぐに判断し行動してくれたことが素晴らしいです。

「いつも心に【伴東プライド】」を合言葉に、みんながお互いの立場や気持ちを尊重し協力し合って学校生活を送っています。先日開催された「伴東まつり」の仲良し班での行動にも、子どもたち一人一人の成長が見られました。このような状態が継続してほしいものです。



一方で学校を離れてからの行動で気になることもあります。先日、地域の方から連絡がありました。一つめは「道路に転がっている石を蹴りながら歩いている。」ということ。そして二つめは「道路に3~4人が広がって歩いている。」という指摘でした。地域の方は「他の方の迷惑になってはいけない。また、交通事故に巻き込まれてもいけない。」と心配されての連絡でした。やってはいけないことは絶対にしない、どの様に行動したらいいか自分でしっかり判断する・・・13日の朝、元気タイムの後に子どもたちに伝えました。夏休み中も「いつも心に【伴東プライド】」!